

北陸線・ローカル線の存続と公共交通をよくする富山の会

NEWS ニュース NEWS

2010年10月4日号

発行：公共交通をよくする富山の会・事務局 射水市海老江鎌合1-2 富山高等専門学校射水キャンパス・岡本研究室内
TEL・FAX 0766(86)5293 メール thlt@infoseek.jp HPアドレス http://www5e.biglobe.ne.jp/~thlt/

第10回総会のご案内

11月27日(土) 午後2時より

CiC3階 学習室5

報告

「JRの社会的責任」と 並行在来線の展望を考える

「JRの社会的責任」と並行在来線について報告を予定しています。①国・JRは沿線自治体と「合意」はできているというが？住民・利用者との「合意」は？②JRの経営上、必要'な経営分離か、分離しなければ経営が危ぶまれるのか③存続する・分離を回避する努力はつくされたか④分離区間は、鉄道システムと利用者・住民の生活から合理的か・・・

富山の売薬さんの「先用後利」、近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」は「企業の社会的責任」に通ずる・・・



6月13日約60人が参加

第3次「提言」に注目あつまる

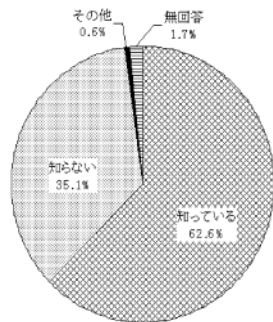
将来も維持可能な並行在来線・北陸本線のために—JRの社会的責任と国の役割を求める提言—



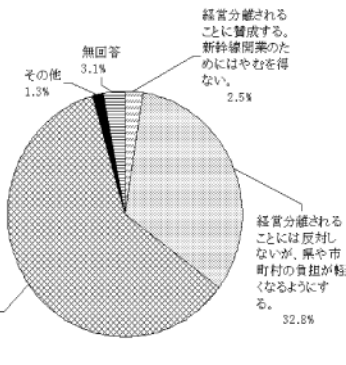
第3次「提言」は、これまでの活動の到達点にたつて、国民の財産を受け継いだJRの経営を分析。JRは並行在来線の運行と維持を経営経費に組み込み社会的責任を果たすことなど「提言」。この「提言」は県と市町村、各県議、県内経済団体、JRに届けました。

北陸本線の全駅周辺で3千枚を超えるアンケートを配布。シンポジウムの時点で524通を集約して発表しました。新聞は、「JRから経営分離6割が反対」(毎日)、「JR関与を求める声が9割超」(朝日)などと報道。全国からも注目されました。(詳細は「記録集」をご覧ください)

問1【経営分離される事業の認識について】
2014年度末に北陸新幹線が全線まで開業する予定です。その際、現時点での「政府・与党合意」に基づいて、並行在来線である北陸本線の直江津～金沢間はJR西日本の経営から分離されることになっています。つまり、JRではなくなるのです。この計画をご存じですか。



問3【経営分離への賛否について】
現時点では、北陸新幹線開業後に北陸本線の直江津～金沢間がJR西日本から経営分離されて、JRではなくなる予定です。北陸本線の利用者には様々な影響が考えられる。このような政策をどう思いますか。



「赤旗」「北日本」「富山」「朝日」

◆6月13日のシンポジウムの「記録集」をお届けします。

募金のお願い

当「会」は会費制ではなく、会員のみさんの募金で賄ってます。郵便振込用紙を同封しますので募金に積極的にご協力ください。